

未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町

～幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト～

愛南町ブルーカーボン推進協議会

愛南漁業協同組合、家串・油袋・平簗・柏崎真珠母貝生産組合、愛南町役場
国立大学法人愛媛大学南予水産研究センター、一般社団法人Umidas

プロジェクト概要

- ✓ 愛南町は真珠母貝生産量が全国トップクラスですが、漁業者の減少が著しく、真珠産業の存続が危惧されます。
- ✓ 真珠母貝養殖筏（幹縄筏）には作業の支障となる海藻（マメタワラ）が毎年繁茂します。
- ✓ 漁業者はこれを除去し、同海域の『藻捨て場』と呼ばれる区画に移動する作業を頻繁に行っています。
- ✓ 漁業者が管理する筏が貴重なブルーカーボン創出源となり、日常作業が海中への炭素固定に貢献すると捉えた、新発想のプロジェクトです。

申請対象：愛南町内 4 海域の幹縄筏のマメタワラ
今期認証量：33.8(t-CO₂) 藻場面積：8.83ha

特徴

- ✓ 貝類養殖筏では**全国初、四国第一号**の認証
- ✓ **産業活動そのものが脱炭素社会に貢献**
- ✓ 取得したクレジットは**真珠産業の保全・活性化**に繋げる他、**環境保全活動や環境教育**等にも活用



**愛南町は真珠母貝養殖の継続で
持続可能な脱炭素社会を実現します**